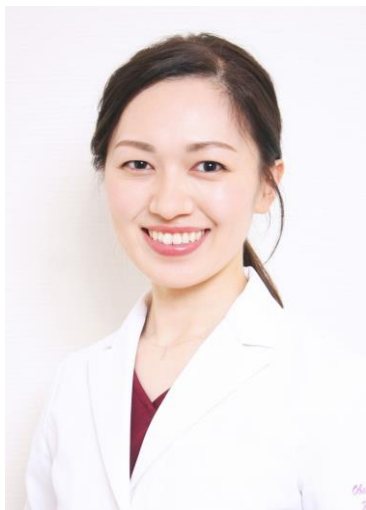




新入社員向け 「女性特有の健康課題に関する eラーニングプログラム」の開発と検証

令和4年度フェムテック等サポートサービス実証事業資料

株式会社Kids Public



鳥海玲奈（プロジェクトリーダー）

産婦人科専門医

産婦人科オンライン副代表

2010年 杏林大学医学部卒業

2012年 杏林大学医学部附属病院 初期臨床研修修了

2012-2015年 同病院 産婦人科 後期レジデント

2013年 独立行政法人国立病院機構埼玉病院 産婦人科

2015-2019年 杏林大学医学部附属病院 産婦人科 医員

2019年- ウイメンズ・クリニック大泉学園 等で主に不妊治療や分娩に携わる

2020年- 株式会社Kids Publicの産婦人科部門副代表を務める



重見大介（サブリーダー）

産婦人科専門医, 医学博士

産婦人科オンライン代表

2010年 日本医科大学卒

2012年 日本赤十字社医療センターにて初期研修修了

2015年 日本医科大学と関連病院にて産婦人科研修修了

2018年 東京大学大学院 公共健康医学専攻修士課程卒業

2022年 東京大学大学院 博士課程(医学)終了

2018年- 病院勤務、研究活動と並行して、株式会社Kids Publicの産婦人科を統括

産婦人科・小児科に特化したオンライン医療相談

- 病院受診の手前にある不安や孤立にリーチすることを目指す
- 手薄になりがちな働く女性の健康支援をオンラインでサポート



<事業開始>

- 小児科オンラインは2016年、産婦人科オンラインは2018年事業開始

<サービス概要>

- 産婦人科医、助産師、小児科医が対応
- 自治体の住民サービスや企業の福利厚生、会員サービスへの付帯として導入

<実績>

- 現在、100以上の法人に導入
- 2020年に経済産業省「令和2年度補正遠隔健康相談体制強化事業」に採択

『働く女性の健康に対するオンライン支援プログラムの効果検証』

- 産婦人科医との定期面談
- オンライン相談の自由利用
- 医療記事配信

対象者：女性社員30名（20-30代 15名、40代 15名）

期間：2021年8月～2022年2月（約7ヶ月間）

- ・月1回、平日夜間に20～30分間/回の定期面談を行う
- ・生活習慣の把握、セルフケアの提案、年代に沿ったミニレクチャー

→介入群では「ヘルスリテラシー」「生活習慣」「生産性」「受診行動」で
良好な変化が認められた

【見えた課題】

- ・面談調整（時間帯や回数）の困難さ、人数の限界
 - ・レクチャー内容の不一致（年代など個々の多様な背景）
- より多い参加者へ、より早期の介入ができないか？





新入社員向け

「女性特有の健康課題に関する eラーニングプログラム」の開発と検証

健康的に働いていく上で、知っておくべき健康情報を
スマホから気軽にどこでも学べるように

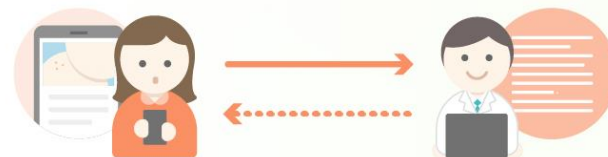


eラーニングツールの開発・提供

- 月経随伴症状、不妊治療、女性特有のがんなど**幅広くカバー**
- 個別の回答結果に応じて**自分に必要な医療・健康情報**を取得
- 複数回実施することで**知識の定着と行動変容**の期待を
- **男性も学ぶ**ことで職場における相互理解の促進に

オンライン相談の自由利用

- 疑問が湧いたら、**オンライン**で気軽に**産婦人科医へ相談可能**
- **直接会話**できる予約形式 & **24時間送れるメッセージ形式**



対象者： 複数企業より、
新卒入社1～3年目（もしくは社会人歴3年目まで）の男女社員
計200～300人

背景と目的：

- ・減らない女性従業員の離職率
- ・出産・育児だけでなく、不妊治療や女性特有の健康問題による就労継続困難も多い

→女性自身が就労早期から適切な情報取得を
男性を含めた職場全体の理解向上を

初期アウトカム

- ・セルフケアにより女性特有の症状による苦痛や不安が軽減する
- ・日頃の健康管理の質が向上する
- ・プレコンセプションケアの観点から生活習慣を改善できる
- ・疑問に対しての捉え方、適切な解決方法を知る



中期目標

- ・定期検診やワクチン接種など、健康維持に関する取り組みを継続できる
- ・個々のライフプランニングを設計し、実践する
- ・職場全体でのヘルスリテラシーが向上する



長期目標

- ・健康管理を通して、安心感を持てる職場環境であると感じられる
- ・妊娠率向上や妊娠時合併症が回避できる
- ・長期の離職率が低下する

実施内容① eラーニングツールの開発・提供

confidential

1) eラーニングツール作成

- ・ 男性社員用、女性社員用の2パターンのツール作成
→男性も学ぶことで職場における相互理解促進
- ・ テーマは月経随伴症状、不妊治療、プレコンセプションケア、妊娠・出産、女性特有のがんなど
→健康課題を幅広くカバー

2) eラーニングツール実施

- ・ スマホから簡単にアクセス可能
- ・ 20～30個の設問全てに回答すると、回答内容により
自動カスタマイズされた情報が即時にテキストで表示される
- ・ 自己の過去回答が期間内いつでも閲覧可
- ・ ほぼ同内容のeラーニングを合計2回施行
(第1回目：9月上旬、第2回目：12月上旬) →知識の定着と行動変容の期待を

イメージ図（女性社員用）

年齢を教えてください。 13:34

20 - 24歳 >

25 - 29歳 >

30歳以上 >

13:34 30歳以上

月経周期（月経の初日から次の月経開始の前日までの期間）は25～38日の間で定期的に來ていますか？ 13:34

はい >

いいえ >

13:34 はい

実施内容② オンライン相談サービスの自由利用

confidential

いつでも相談

- ・ 毎日24時間、質問を受付
- ・ 24時間以内に医師/助産師より回答送付



夜間相談

- ・ 平日18時～22時（1枠10分の予約制）
- ・ メッセージチャットや動画通話に対応



- ・ 女性参加者が自身の気になる症状について
- ・ 男性参加者が女性パートナーや同僚の健康問題について など

eラーニングツール利用後に疑問が湧いたら、気軽に産婦人科医へ相談を

成果指標

女性に対して

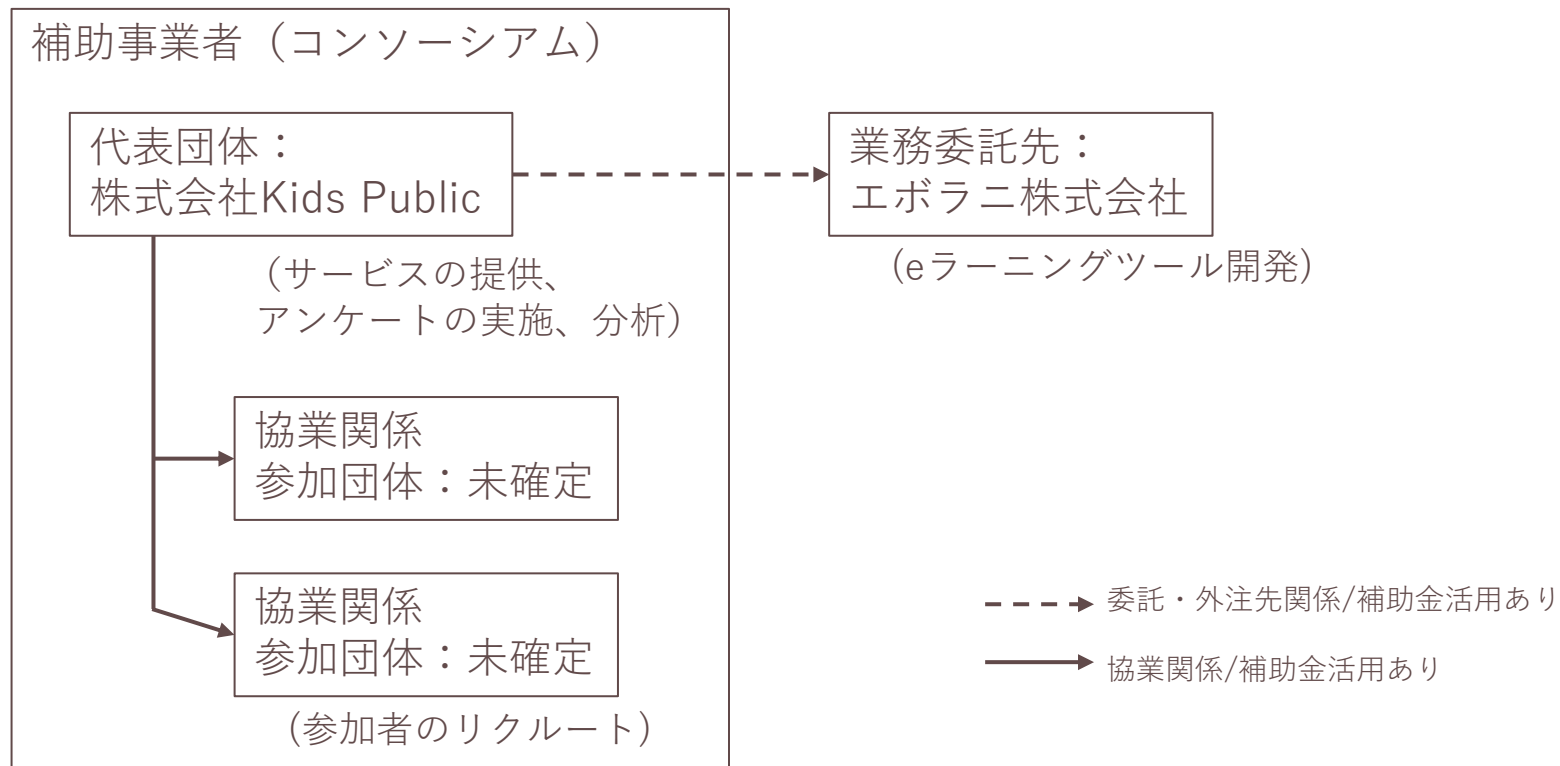
- ・ヘルスリテラシーの変化
- ・生活習慣改善度
- ・月経や婦人科疾患等による生産性への影響 など

男性に対して

- ・ヘルスリテラシーの変化
- ・生活習慣改善度 など

測定方法

- ・事業開始時と終了時にウェブアンケートを実施
- ・参加企業の上乗せが得られた場合、同様の勤務環境におり、本プログラムを提供しない男女社員にも同様の調査を実施し評価の客観性を高める（対照群）



実施スケジュール

confidential

			2022年						2023年		
実施事項			7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 女性の健康課題に関するeラーニングツールの開発・施行	1.1 本ツールの作成	本ツールの開発									
		コンテンツ作成									
	1.2 本ツールの実施	参加団体調整・確定									
		1回目									
		2回目									
		事前アンケート									
	1.3 効果測定	事後アンケート									
		データ分析									
		報告書作成・提出									
	2. 産婦人科オンラインを利用した遠隔医療相談										

対象者： 新卒入社1~3年目（もしくは社会人歴3年目まで）の男女社員
複数団体より募集 計200~300人（1社あたり~数十名でOKです）

参加によるメリット：

- ・ 新入社員の意識向上

女性の健康課題に関する知識・理解が深まる

積極的に取り組む会社であることを実感、勤労の意欲が高まる

- ・ 費用負担なし

eラーニングツールや産婦人科オンライン・小児科オンラインを気軽に試せる

- ・ 経産省のフェムテック実証事業参加という実績

社内事業への応用や、対外的な宣伝効果にも

ご興味ある方、担当者までご連絡ください！